

年齡別抗菌藥使用量統計

○本データは、診療、調剤時に発生する診療報酬明細書、調剤報酬明細書をもとに集計しています。
医療費公費負担制度受給者のデータなどが含まれないことがあり、正確な使用量を示すものではありません。
データの取得時期により、これまでの公表値と変更がある場合がございます。
また、データソースが異なるため、販売量サーベイランス (<http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/20190902163931.html>) とは数値が異なります。

○表記されている数値は、人口と薬剤ごとのDefined Daily Dose (DDD) で調整した『標準化使用量』を表しており、これをDID (DDDs/1,000 inhabitants/day) と呼びます。(参考：https://www.whocc.no/atc_ddd_index/)。
DDDは2017年1月1日時点のものを使用しております。

○人口は、総務省統計局の人口推計 (<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/>) を利用しています。

○AWaRe分類はWHOが推奨する抗菌薬適正使用の指標です。
(参考：<https://adoptaware.org/> 対応表：http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/AWaRe_bunrui_2021_ver1.pdf)

○その他、抗菌薬集計に関する用語に関しましては、こちらをご参照ください。(http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903_glossary.pdf)

○注意事項

・3, 5ページの『抗菌薬種類 (ATC 3)による集計』の各グループに含まれるATCコードは以下となっています。
ATC分類の詳細については https://www.whocc.no/atc_ddd_index/ を参照してください

ペニシリン以外のベータラクタム系: J01D (その他のβラクタム系抗菌薬) ※カルバペネムなども含む
マクロライド・リンコサミド・ストレプトグラミン: J01F (マクロライド, リンコサミド, ストレプトグラミン)
キノロン: J01M (キノロン系抗菌薬) ※ナリジクス酸やピペミド酸を含む
ペニシリン: J01C (ベータラクタム, ペニシリン) ※βラクタマーゼ阻害剤との合剤も含む

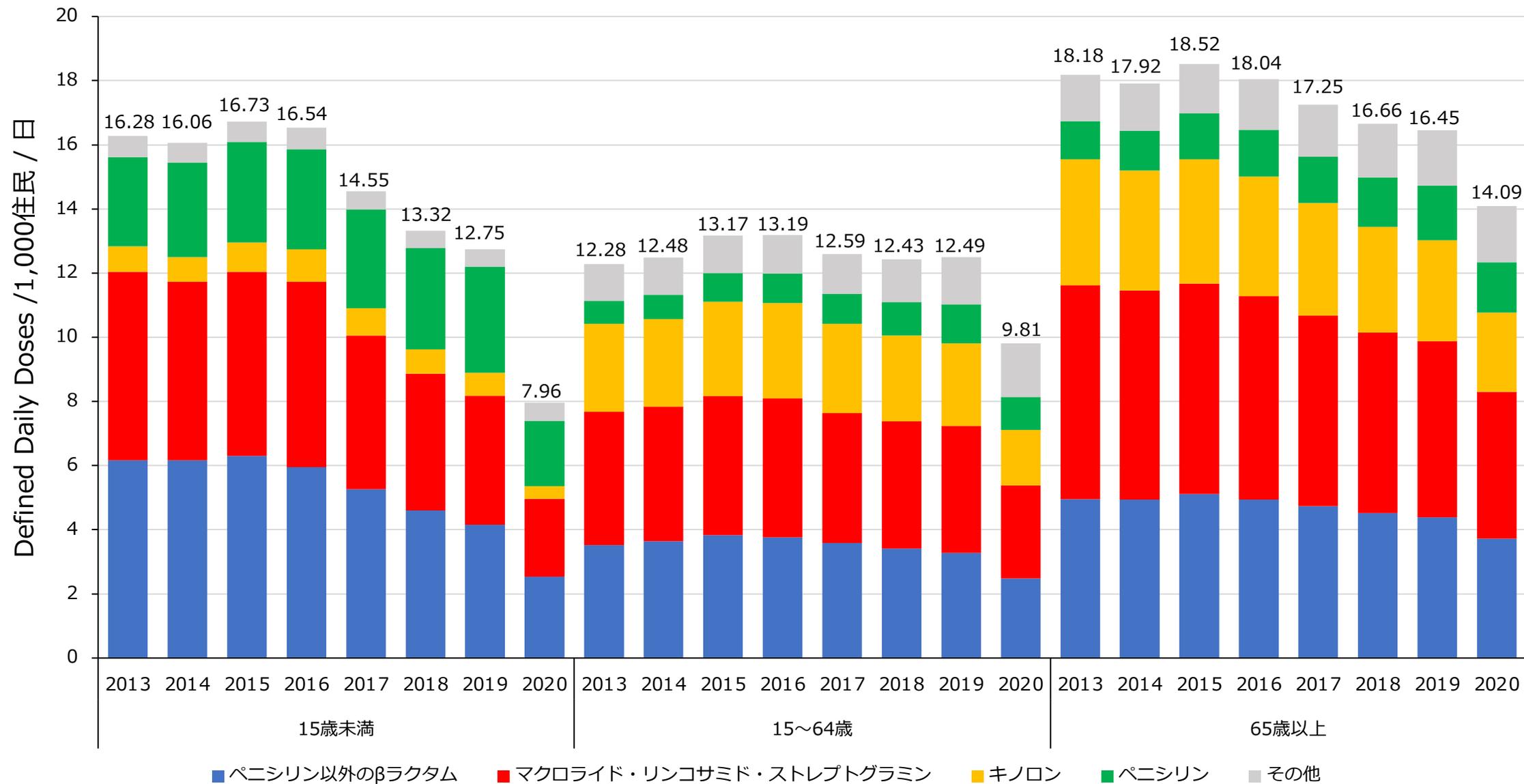
・5, 8ページの性別に関しては、受診・処方時点の診療報酬明細書、調剤報酬明細書に記載されている性別に基づいています。

・4ページの『病診区分による集計』は、各診療所・病院が厚生局に12月時点で届け出ている区分を用いています。

(※) 本データ解析は、以下の研究に基づき実施されたものである。

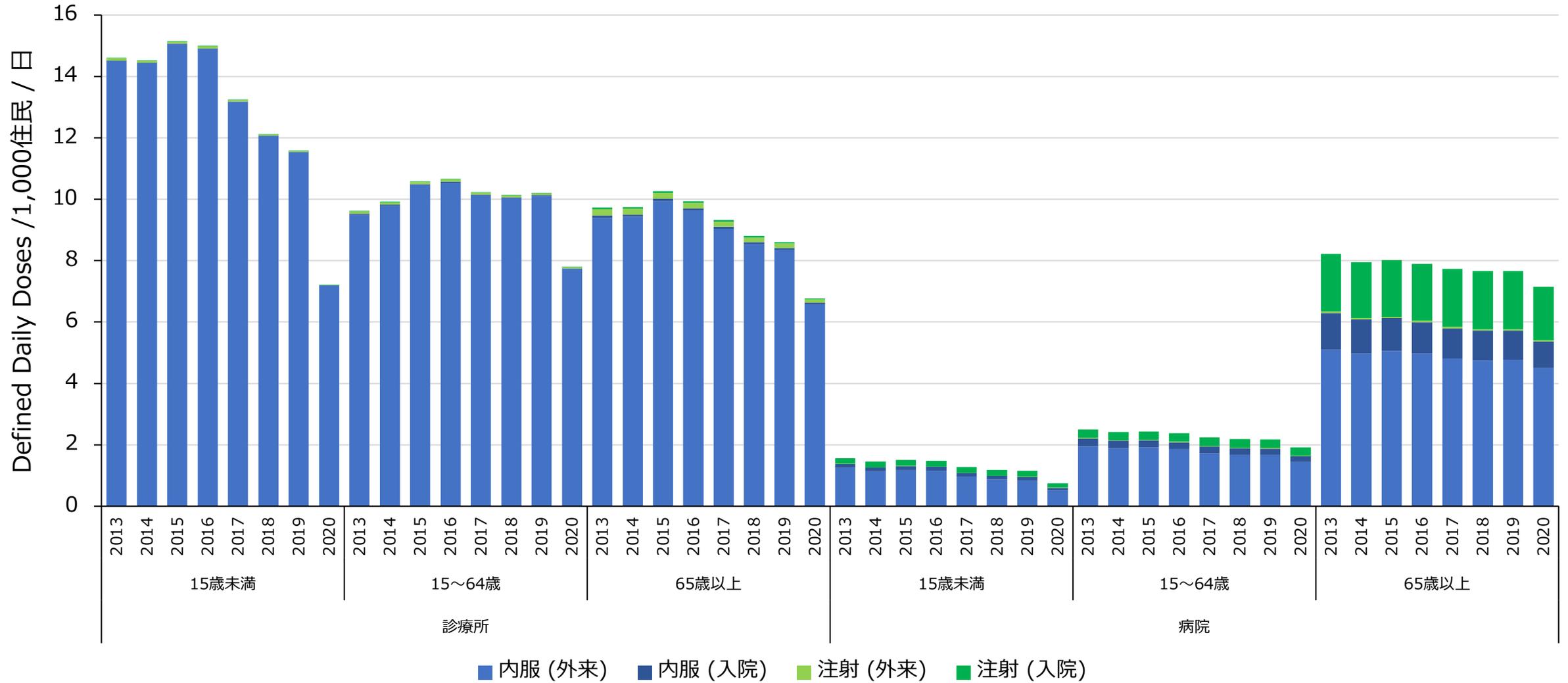
・令和3年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 (厚生労働科学研究費補助金)
薬剤耐性 (AMR) アクションプランの実行に関する研究 (研究代表者: 大曲貴夫)

全国抗菌薬使用量推移 2013-2020 年齢区分別 抗菌薬種類 (ATC 3) による集計



内服+注射

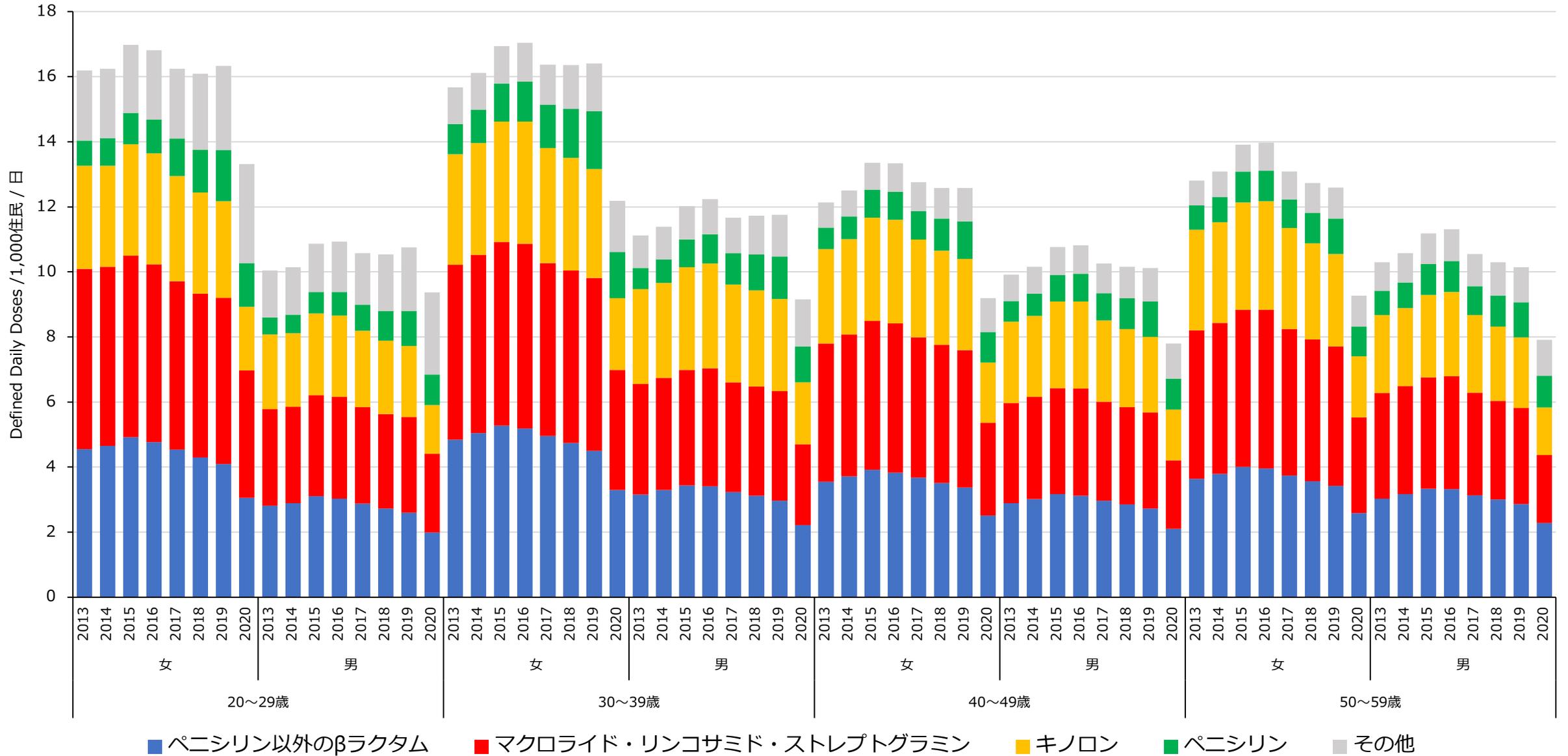
全国抗菌薬使用量推移 診療所と病院に分けた集計 (厚生局への届け出に基づく)



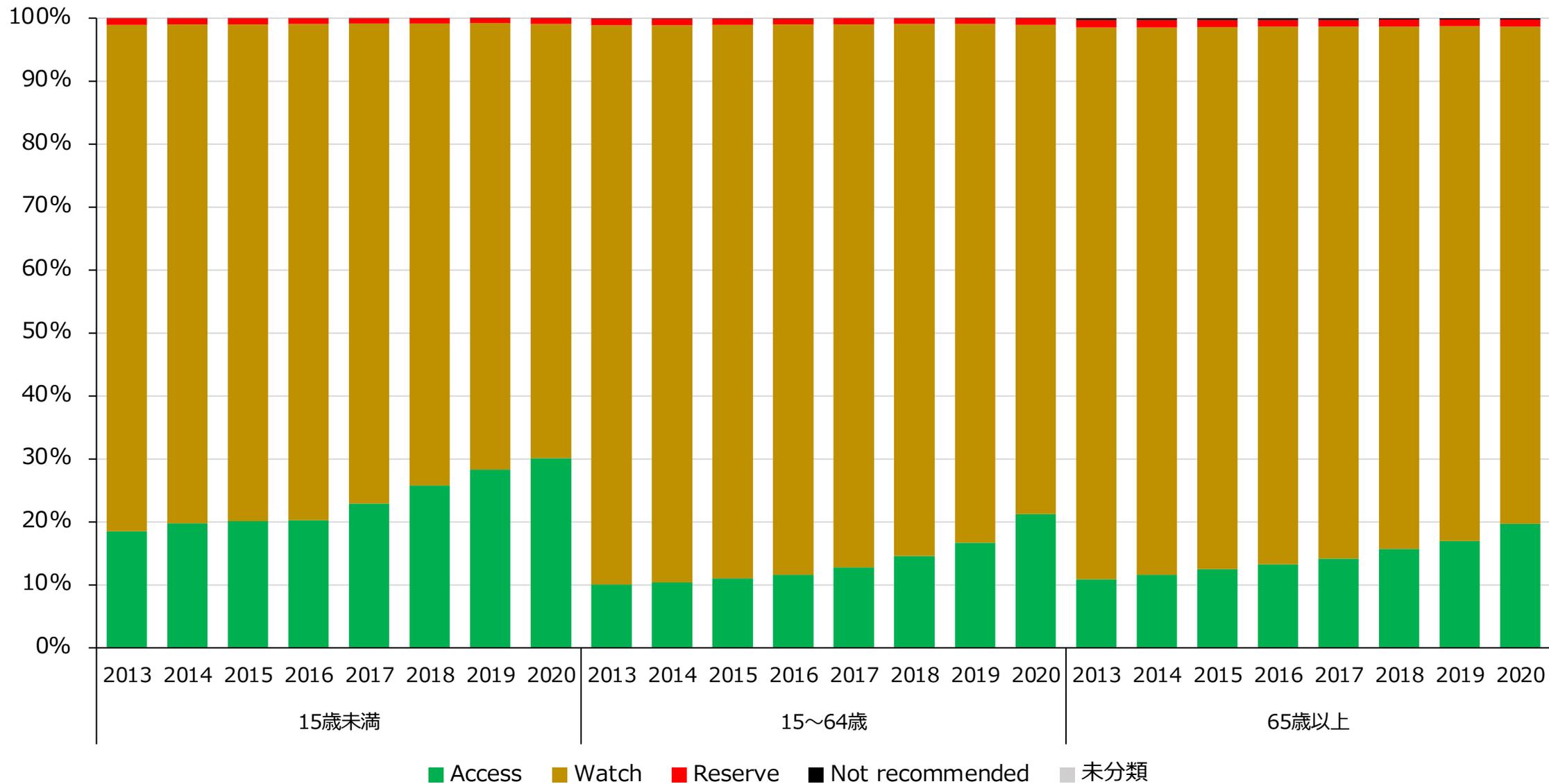
※各年12月1日時点の厚生局への医療機関届出に基づいて集計しており、届出未収載の施設は不明として本グラフからは除外している

内服+注射

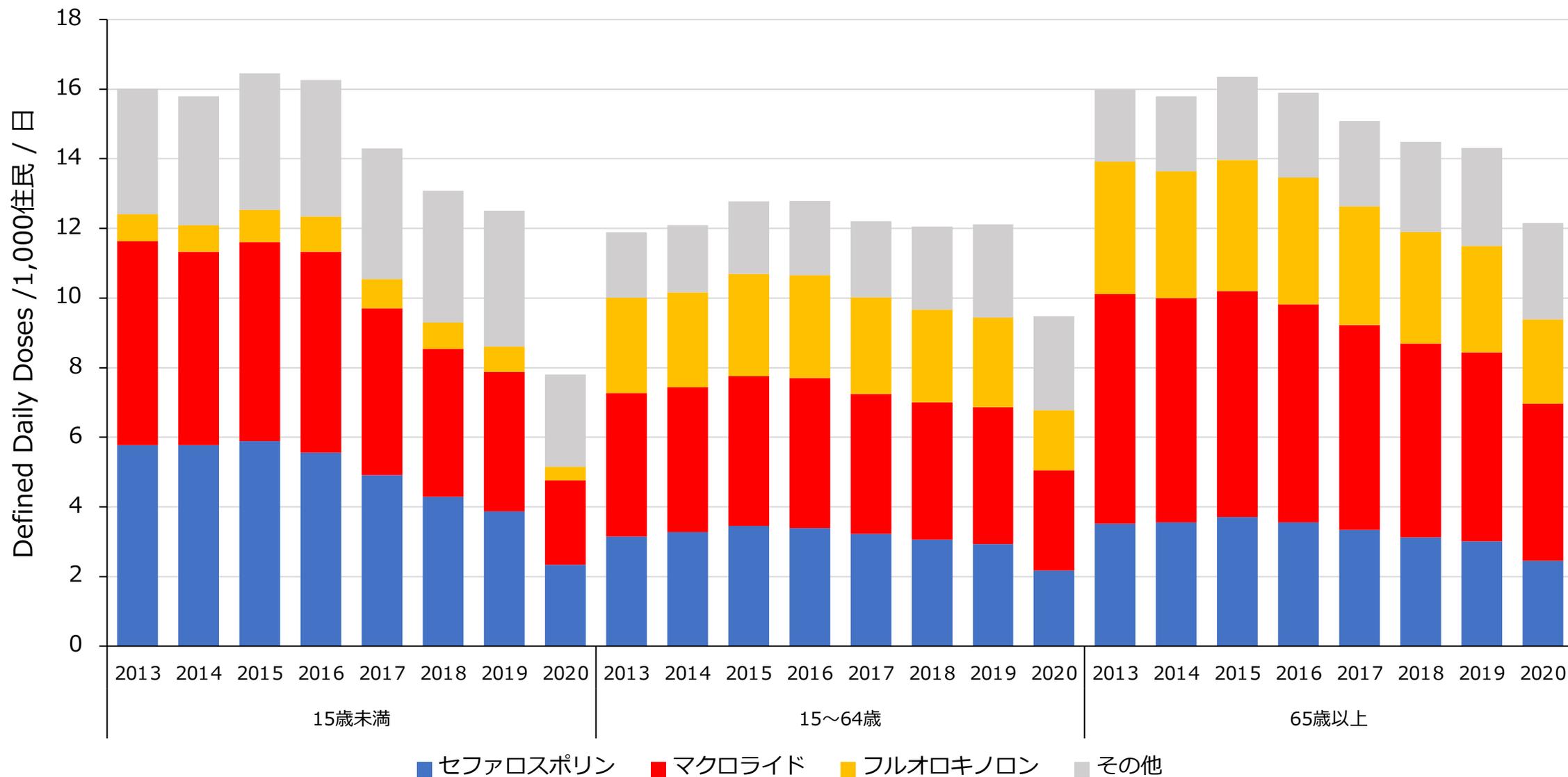
全国抗菌薬使用量推移 2013-2020 年齢階級・性別別 抗菌薬種類 (ATC 3) による集計



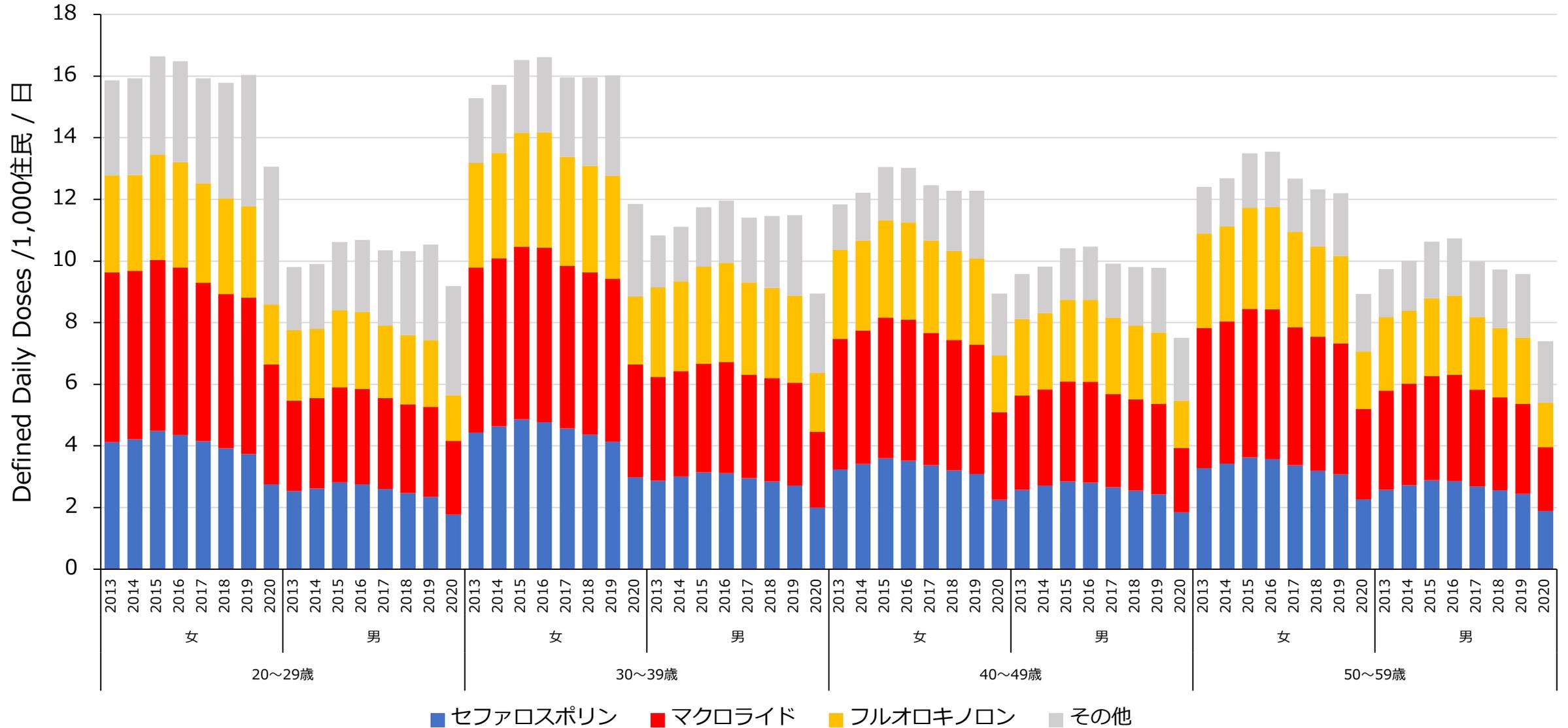
全国抗菌薬使用割合 (%) 2013-2020 年齢区分別 AWaRe分類による集計



全国内服抗菌薬使用量推移 2013-2020 年齢区分 抗菌薬種類 (ATC 4) による集計



全国内服抗菌薬使用量推移 2013-2020 年齢階級性別別 抗菌薬種類 (ATC 4) による集計



全国内服抗菌薬使用割合 (%) 2013-2020 年齢区分 AWaRe分類による集計

